２０１１年１２月期
第２四半期決算

㈱ポーラ・オルビスホールディングス
代表取締役社長
鈴木 郷史

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。

本日の流れ

POLA ORBIS HOLDINGS

２０１１年１２月期　第２四半期 決算説明会

１．連結業績ハイライト

２．セグメントの状況および重点戦略の進捗

３．２０１１年１２月期業績見通し

４．下期以降の取組み

５．質疑応答

1．連結業績ハイライト

2．セグメントの状況および重点戦略の進捗

3．２０１１年１２月期業績見通し

4．下期以降の取組み

5．質疑応答

東日本大震災からの回復状況

POLA ORBIS HOLDINGS

震災の影響により第1四半期決算時(4月28日)に下方修正を発表

上期見通し(当初計画差)	連結売上高　△39億	営業利益　△12億
通期見通し	連結売上高　△61億	営業利益　△18億

上期決算　ポーラを中心に想定以上に早い回復状況

4/28修正計画差	連結売上高　＋14.4億	営業利益　＋10.3億
当初計画差	連結売上高　△24.6億	営業利益　△1.7億
通期見通し	M＆A等の影響を精査中のため据え置き	

- ◆ ポーラ営業所(全国約4500店)　全半壊30店　原発地域12店　⇒ 閉鎖拠点はゼロ、訪販等で順次再開。
- ◆ オルビス・ザ・ショップ(全国約110店)　5店舗が一時営業休止　⇒ 5月上旬までに全店再開
- ◆ オルビス倉庫(埼玉)が一時出荷停止　⇒ 3月23日から出荷再開
- ◆ 百貨店　2店舗が一時営業休止　⇒ 3月26日までに全店営業再開

４月28日発表の業績見通しとの差異について

	上期実績	4/28修正計画差	要　　因
連結売上高	78,937百万円	+1,437百万円 （+1.9%）	・ポーラが想定以上に早い回復状況 （西日本地区が特に好調）
営業利益	5,534百万円	+1,034百万円 （+23.0%）	【原価】 ・ 原材料コストアップを想定していたが、影響は軽微 【販管費】 ・ 販売促進上の各種イベント自粛によるコスト削減
経常利益	5,962百万円	+1,262百万円 （+26.9%）	・ 4月以降の急激な為替変動（主にウォン）により差益が発生
四半期純利益	2,989百万円	+889百万円 （+42.4%）	・ 税前四半期純利益の増加

連結業績ハイライト【P/L概要】

POLA ORBIS HOLDINGS

（単位：百万円）	2010年 上期実績	2011年 上期実績	前期比 増減	前期比 率(%)	4/28修正計画比 増減	4/28修正計画比 率(%)
売上高	79,838	78,937	△900	△1.1%	1,437	1.9%
売上原価	15,939	15,204	△735	△4.6%	204	1.4%
売上総利益	63,898	63,733	△165	△0.3%	1,233	2.0%
販管費	58,529	58,199	△329	△0.6%	199	0.3%
営業利益	5,369	5,534	164	3.1%	1,034	23.0%
経常利益	5,184	5,962	777	15.0%	1,262	26.9%
税前当期純利益	5,067	4,353	△714	△14.1%	1,253	40.4%
当期純利益	1,984	2,989	1,005	50.6%	889	42.4%

連結決算概況

連結売上高 ⇒ 震災の影響を受け減収となったが、ポーラは回復が早く前年並みの実績を確保
営業利益 ⇒ 原価率の改善、全社的なコストダウンにより増益を達成
四半期純利益 ⇒ 資産除去債務と震災等の特別損失16億円計上も税効果の影響で増益

連結P／L増減分析　（売上～営業利益）

POLA ORBIS HOLDINGS

（単位：百万円）	2010年 上期実績	2011年 上期実績	前期比 増減	前期比 率(%)	4/28修正計画比 増減	4/28修正計画比 率(%)
売上高	79,838	78,937	△900	△1.1%	1,437	1.9%
売上原価	15,939	15,204	△735	△4.6%	204	1.4%
売上総利益	63,898	63,733	△165	△0.3%	1,233	2.0%
販管費	58,529	58,199	△329	△0.6%	199	0.3%
営業利益	5,369	5,534	164	3.1%	1,034	23.0%

連結売上高

・ポーラ　前年同期比　△1.7億円、オルビス　△7.7億円
・ACRO　前年同期比　＋1.4億円

売上原価

・原価率　2010年上期 19.96% ⇒ 2011年上期 19.26%
・スキンケア比率の上昇による原価率の改善
・ポーラとオルビスの売上比率の変動

販管費

・人件費　⇒　前期比　＋1.9億円
・販売関連費　⇒　△2.8億円
・販売手数料　⇒　＋0.1億円
・管理費他　⇒　△2.5億円

営業利益

・前年同期比　＋1.6億円（ビューティケア＋0.4億円　不動産＋1.2億円）

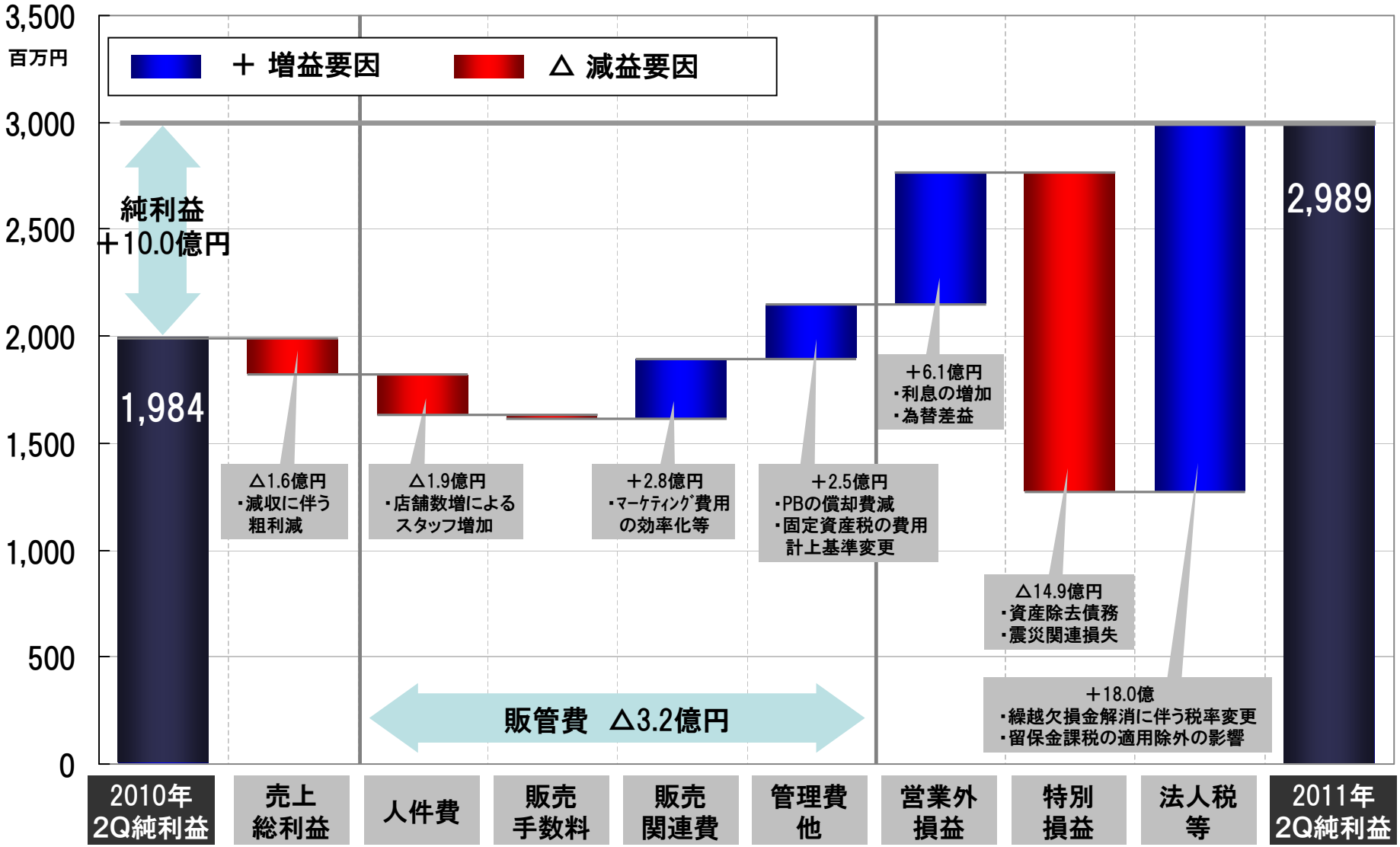
連結P／L増減分析　（営業利益～当期純利益）

POLA ORBIS HOLDINGS

（単位：百万円）	2010年 上期実績	2011年 上期実績	前期比 増減	前期比 率(%)	4/28修正計画比 増減	4/28修正計画比 率(%)
営業利益	5,369	5,534	164	3.1%	1,034	23.0%
営業外収益	328	511	183	55.9%	211	70.6%
営業外費用	513	83	△430	△83.7%	△16	△16.3%
経常利益	5,184	5,962	777	15.0%	1,262	26.9%
特別利益	581	2	△579	△99.6%	2	—
特別損失	698	1,610	912	130.6%	10	0.7%
税前四半期利益	5,067	4,353	△714	△14.1%	1,253	40.4%
法人税等	3,169	1,366	△1,802	△56.9%	366	36.6%
少数株主損失	△86	△3	83	—	△3	—
四半期純利益	1,984	2,989	1,005	50.6%	889	42.4%

営業外収益・費用	・資金運用による受取利息の増加　前年同期比　＋1.0億円 ・為替差損益　前年同期比　＋4.9億円
特別利益・損失	・資産除去債務　9.5億円 ・災害関連損失　4.3億円（支援物資等含む）
法人税等	・繰越欠損金解消に伴う実効税率変更　△7.1億円 ・留保金課税の適用除外による影響　△8.1億円

四半期純利益増減要因


3,500
百万円
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
＋ 増益要因
△ 減益要因
純利益
＋10.0億円
1,984
2,989
△1.6億円
・減収に伴う
粗利減
△1.9億円
・店舗数増による
スタッフ増加
＋2.8億円
・ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ費用
の効率化等
＋2.5億円
・PBの償却費減
・固定資産税の費用
計上基準変更
＋6.1億円
・利息の増加
・為替差益
△14.9億円
・資産除去債務
・震災関連損失
＋18.0億
・繰越欠損金解消に伴う税率変更
・留保金課税の適用除外の影響
販管費 △3.2億円
2010年
2Q純利益
売上
総利益
人件費
販売
手数料
販売
関連費
管理費
他
営業外
損益
特別
損益
法人税
等
2011年
2Q純利益

１．連結業績ハイライト
２．セグメントの状況および重点戦略の進捗
３．２０１１年１２月期業績見通し
４．下期以降の取組み
５．質疑応答

セグメント別実績

POLA ORBIS HOLDINGS

（単位：百万円）	2010年 上期実績	2011年 上期実績	前期比 増減	前期比 率（%）	4/28修正計画比 増減	4/28修正計画比 率（%）
連結売上高	79,838	78,937	△900	△1.1%	1,437	1.9%
ビューティケア事業	74,065	73,271	△793	△1.1%	1,371	1.9%
不動産事業	1,547	1,552	5	0.3%	52	3.5%
その他	4,225	4,113	△112	△2.7%	13	0.3%
営業利益	5,369	5,534	164	3.1%	1,034	23.0%
ビューティケア事業	4,477	4,520	42	0.9%	セグメント別営業利益の4/28修正計画は先行きが不透明であったため未公表	
不動産事業	535	659	124	23.2%		
その他	△71	144	216	―		
全社・消去	428	209	△218	△51.1%		

ビューティケア事業実績 【商材別】

POLA ORBIS HOLDINGS

（単位：百万円）	2010年 上期実績	2011年 上期実績	前期比 増減	前期比 率(%)
売上高	74,065	73,271	△793	△1.1%
化粧品	68,057	67,500	△557	△0.8%
ファッション	6,008	5,771	△236	△3.9%
営業利益	4,477	4,520	42	0.9%
化粧品	4,844	4,936	91	1.9%
ファッション	△366	△416	△49	―

◆化粧品 ⇒ ポーラが前年並みの実績を確保し、売上は微減、営業利益は微増。
◆ファッション ⇒ 東北地区での一部催事販売が中止となり、売上減少。

＊ 前期と同様の計算方法で算出した場合の参考値。（非監査情報）

ビューティケア事業実績 【ブランド別】

POLA ORBIS HOLDINGS

（単位：百万円）	2010年 上期実績	2011年 上期実績	前期比 増減	前期比 率(%)
売上高	74,065	73,271	△793	△1.1%
ポーラブランド	46,618	46,449	△168	△0.4%
オルビスブランド	24,173	23,398	△775	△3.2%
育成ブランド	3,273	3,423	149	4.6%
営業利益	4,477	4,520	42	0.9%
ポーラブランド	2,254	2,504	250	11.1%
オルビスブランド	3,115	2,900	△215	△6.9%
育成ブランド	△892	△885	7	—

◆ポーラブランド ⇒ 東海以西エリア、百貨店が好調に推移し売上は微減。PBの償却費減等により増益。
◆オルビスブランド ⇒ 全国的な消費マインドの冷え込みの影響を受け減収・減益。
◆育成ブランド ⇒ ACRO社 「THREE」が好調を持続。

＊ 参考値としてブランド別に連結決算ベースの営業損益を表示。（非監査情報）

不動産・その他実績

（単位：百万円）	2010年 上期実績	2011年 上期実績	前期比	
			増減	率（%）
不動産事業売上	1,547	1,552	5	0.3%
営業利益	535	659	124	23.2%

◆売上は前年並み、固定資産税の費用計上基準の変更（2Q一括計上⇒12ヶ月均等）により増益を達成

（単位：百万円）	2010年 上期実績	2011年 上期実績	前期比	
			増減	率（%）
その他売上	4,225	4,113	△112	△2.7%
営業利益	△71	144	216	―

◆医薬品　⇒「ルリコン」の取扱い施設数増及びジェネリック医薬品の販売が好調で前年同期を超過
◆ビルメンテナンス　⇒ 工事業務で大型工事の受注が減少し、前年同期を下回る結果
◆印刷　⇒ 7月1日 タイヘイ株式会社への株式譲渡を発表（詳細はP30を参照）

２０１１～１３年中期経営計画（確認）

POLA ORBIS HOLDINGS

基幹ブランドの安定収益確保と成長戦略への投資

- ◆ 連結売上高 ⇒ 年平均 2～3%の成長
- ◆ 営業利益額 ⇒ 年平均 10%以上の成長
- ◆ 営業利益率 ⇒ 2013年 9%（国内10%）

安定収益の確保

戦略1 ― 基幹ブランドの安定収益確保

POLA
- ・ポーラ ザ ビューティの収益拡大
- ・高価格帯スキンケアのシェア拡大

ORBIS
- ・「ブランド再構築」取組み

戦略2 ― 育成ブランドの成長加速

pdc　FUTURE LABO　ORLANE PARIS　decencia　THREE

戦略3 ― 強みを活かした海外展開

POLA
- ・中国での訪販チャネル開発
- ・ロシア・周辺地域でのカウンセリング販売

ORBIS
- ・中国での通販事業

戦略4 ― 研究開発力強化

- ・スキンケア素材開発力強化

戦略5 ― 経営基盤強化

① 再生知名率	② 選択と集中	③ プロセスマネジメント	④ 人材育成

上期 重点戦略の進捗①

POLA ORBIS HOLDINGS

戦略1 ― 基幹ブランドの安定収益確保

POLA

訪販事業	商 品	◆ 2月 部分用美白美容液・美白サプリメント発売 ◆ 4月 「B.A ザ マッサージ」 他2品 発売
訪販事業	チャネル	◆ PB店舗数（ポーラ ザ ビューティ） ＋3店 合計503店 ＊下期は既に10店の出店が確定 ◆ PB上期売上 前年同期比＋9.4% ＊参考：エステイン △0.5% 従来型訪販 △9.0% ◆ PB既存店売上 前年同期比＋9.4% ◆ 総拠点数（PB含む） 前期末＋30店
訪販事業	顧 客	◆ 購入単価 前年同期比 ＋5.4%
訪販以外	百貨店	◆ 百貨店は引続き客数・単価とも前年同期を上回り、2桁成長
訪販以外	業務用	◆ 震災の影響により、3・4月は影響を受けたが成長軌道を回復

ホワイトショット クリアセラム
ホワイトショット インナーロック

B.A ザ マッサージ

上期 重点戦略の進捗①

POLA ORBIS HOLDINGS

戦略1 ― 基幹ブランドの安定収益確保

ORBIS

商 品	◆ 3月 「アクアフォース」レギュラーライン 刷新 前年同期比 ＋2.9億
チャネル	◆ 上期 通販ネット受注比率 前年同期比 ＋4.2pt
顧 客	◆ 購入単価 ※震災の影響もあり 前年同期比 通販△3.1% 店販△0.5% ◆ 通販スキンケア購入者比率 前年同期比 ＋1.0pt ◆ 新規客 スキンケア比率 前年同期比 ＋5.0pt ◆ 通販リピート率 前期末比 ＋0.4pt

新アクアフォース

2011年
アフターサービス
満足度ランキング
ネット通販部門
3年連続1位

出典:『日経ビジネス』
2011年7月25日号

戦略2 ― 育成ブランドの成長加速

THREE	◆ 上期売上高は前年同期比の約2倍 ◆ 店舗数 前期末＋2店舗 合計12店 ◆ 既存店ベースでも前年同期比 ＋30%以上の成長を維持
pdc	◆ バラエティショップ専用商品、限定流通品の好調により、売上は堅調に推移。

3月発売 新ベースメイク

上期 重点戦略の進捗②

POLA ORBIS HOLDINGS

戦略3 ー 強みを活かした海外展開

既存ブランドによる展開

POLA

◆ 中国 ⇒ 店頭＋ネットのプロモーションが奏功し新規客獲得が好調
◆ ロシア ⇒ 原発の風評被害があったが、新規出店が好調(上期約30店)
◆ その他 ⇒ 米国・タイを中心に堅調・ベトナムでの展開開始

海外 百貨店カウンター

ORBIS

◆ 中国 ⇒ インターネット通販開始に備え配送等のテストを実施
◆ 韓国 ⇒ ネットでの新規客獲得が好調
◆ 台湾 ⇒ TVCM等のプロモーション効果で堅調に推移

海外 オルビス店舗

M＆Aによる成長加速

~H2O+™ sea-derived skincare

◆ 5月29日 米国 H2O PLUS HOLDINGS, LLC の持分取得を発表

http://www.h2oplus.com

東日本大震災の復興支援について

POLA ORBIS HOLDINGS

支援物資・義援金

◆ ポーラ　⇒　シャンプー・食品・衛生用品・下着等　約13.6万点
◆ オルビス　⇒　シャンプー・食品・衣類等　約5.5万点
◆ 義援金総額　約1億375万円(6月末時点)
　＊日本赤十字社を通じ被災地に寄付

ステークホルダーとの協同支援

◆ お客さまとともに
　⇒ ポーラ　3、4月売上の一定率相当額を義援金として寄付
　⇒ オルビス　事業通じた復興支援「いつもプロジェクト」開始

◆ 社会とともに
　⇒ ポーラレディ有志による避難所でのエステ施術等
　⇒ オルビス　仙台フィルハーモニーへの協賛

◆ 女性を支援する企業として
　⇒ THREE　寄付型限定品を発売、被災地の妊産婦へ寄付

◆ 従業員とともに
　⇒ グループ役員・従業員による募金
　(53,326,934円を日本赤十字社を通じ被災地に寄付)

寄付型限定品
THREE　リップグロス

参考：震災に伴う特別損失　上期累計　4.3億円(災害損失 1.9億円、義援金・その他　2.4億円)

１．連結業績ハイライト
２．セグメントの状況および重点戦略の進捗
３．２０１１年１２月期業績見通し
４．下期以降の取組み
５．質疑応答

２０１１年１２月期通期見通しについて

POLA ORBIS HOLDINGS

（単位：百万円）	2010年通期 実績	2011年通期 当初計画	2011年 通期見通し	前期比 増減	前期比 率(%)	当初計画比 増減	当初計画比 率(%)
連結売上高	165,253	168,100	162,000	△3,253	△2.0%	△6,100	△3.6%
ビューティケア事業	153,092	155,700	150,000	△3,092	△2.0%	△5,700	△3.7%
不動産事業	3,102	3,100	3,000	△102	△3.3%	△100	△3.2%
その他	9,059	9,300	9,000	△59	△0.7%	△300	△3.2%
営業利益	12,270	12,900	11,100	△1,170	△9.5%	△1,800	△14.0%
経常利益	12,247	13,000	11,600	△647	△5.3%	△1,400	△10.8%
純利益	7,086	7,500	7,300	213	3.0%	△200	△2.7%

H2O PLUS HOLDINGS, LLCの持分取得 、印刷事業会社の株式譲渡の
連結業績に与える影響が精査中であることから、通期見通しは据え置きます。
上記の影響及び今後の業績動向により、修正が必要となる場合、速やかに開示します。

１．連結業績ハイライト
２．セグメントの状況および重点戦略の進捗
３．２０１１年１２月期業績見通し
４．下期以降の取組み
５．質疑応答

H2O PLUS HOLDINGS, LLC の買収について

POLA ORBIS HOLDINGS

2020年ビジョン 高収益グローバル企業へ

売上規模 2,500億円以上　　海外比率 20%以上
営業利益率 業界トップレベル(13～15%)

【国 内】	【海外・国内】	【海 外】
年平均成長率2%程度の安定成長	M&A・アライアンスによる成長加速	アジア中心に基幹ブランド展開

米国 H2O PLUS HOLDINGS, LLC の買収

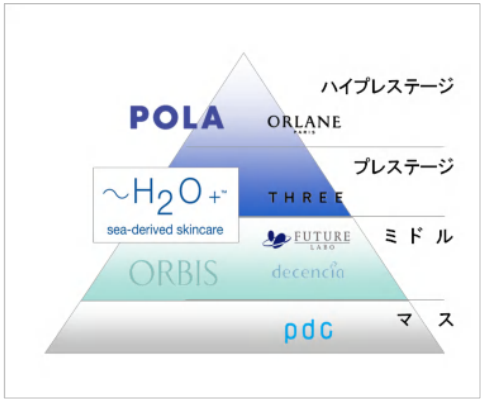
長期ビジョン達成に向けたM&A・アライアンスの第一弾

H2O PLUS HOLDINGS, LLC　会社概要

POLA ORBIS HOLDINGS

会社概要	社　名 ： H2O PLUS HOLDINGS, LLC 設　立 ： 1989年 資本金 ： 35,663 千米ドル(2010 年12 月末時点) 所在地 ： 米国シカゴ 代表者 ： Robert F. Seidl (President &CEO)
コンセプト	sea-derived skincare Transform your skin with the power of the sea
商　品	◆ 独自の海洋由来成分の商品群　約500SKU ◆ スキンケア 約80%、バス・ボディ、アメニティ 約20% ◆ 中心価格帯 20～40＄(米国)
チャネル	北米・アジアを中心に世界22カ国で展開(2011年7月時点) ◆ 北米 ⇒ 直営8店、小売店、百貨店、化粧品専門店 ◆ 海外 ⇒ 代理店経由(ブランドストア42店、百貨店、化粧品専門店) ◆ E-コマース ⇒ 年間7万件の受注 ◆ ホテル・アメニティ

~H2O+™
sea-derived skincare



new concept stores

シナジー効果について

POLA ORBIS HOLDINGS

~H2O+™
sea-derived skincare

- 海洋成分由来の明確なコンセプト
- 中国を中心としたアジアでの展開力
- 代理店展開ノウハウ
- ブランディング

POLA ORBIS GROUP
強み・リソースの活用

期待されるシナジー

①研究開発領域

両社の知見を活用し、付加価値の高い新製品を開発。 → アンチエイジング・ホワイトニング領域の新製品を開発

②生産領域

グループリソースを活用、調達・生産の効率化・コストダウン。 → 2012年、H2O PLUS社内製品のコストダウン目標10%

③販売領域

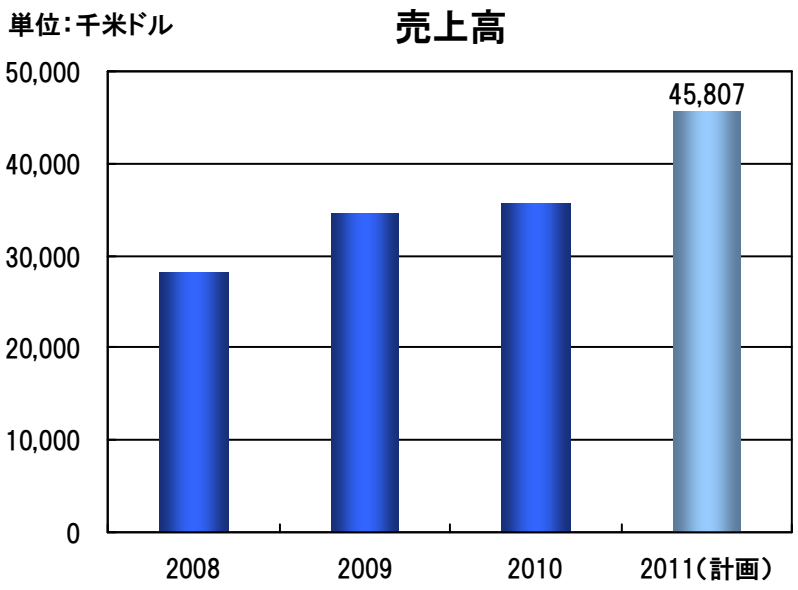
海外代理店ノウハウを活用、既存ブランドの展開を加速。 → 2012年中に具体策を策定予定

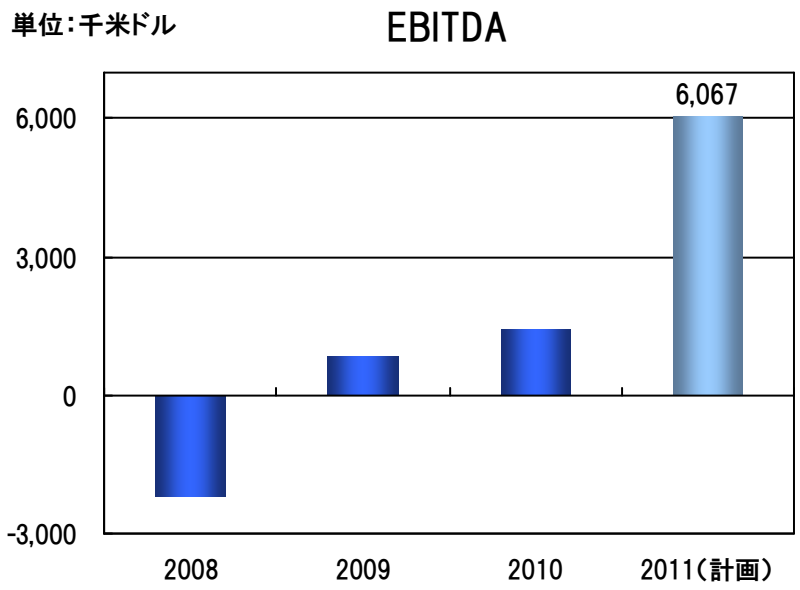
④人材育成領域

両社の人材交流・育成を通じ更なるシナジーを創出。 → シナジー検討タスクフォース編成により、人材交流

業績の推移と連結業績に与える影響

業績の推移





EBITDA＝営業利益＋減価償却費

連結業績に与える影響

◆ 2011年12月期　第3四半期より連結業績に反映します。

◆ 連結業績に与える影響は現在精査中のため、今後、必要に応じて速やかに開示します。

２０１１～１３年中期経営計画（確認）

POLA ORBIS HOLDINGS

基幹ブランドの安定収益確保と成長戦略への投資

- ◆ 連結売上高 ⇒ 年平均 2～3%の成長
- ◆ 営業利益額 ⇒ 年平均 10%以上の成長
- ◆ 営業利益率 ⇒ 2013年 9%（国内10%）

安定収益の確保

戦略1 ― 基幹ブランドの安定収益確保

POLA
- ・ポーラ ザ ビューティの収益拡大
- ・高価格帯スキンケアのシェア拡大

ORBIS
- ・「ブランド再構築」取組み

戦略2 ― 育成ブランドの成長加速

pdc　FUTURE LABO　ORLANE PARIS　decencia　THREE

戦略3 ― 強みを活かした海外展開

POLA
- ・中国での訪販チャネル開発
- ・ロシア・周辺地域でのカウンセリング販売

ORBIS
- ・中国での通販事業

戦略4 ― 研究開発力強化

- ・スキンケア素材開発力強化

戦略5 ― 経営基盤強化

① 再生知名率	② 選択と集中	③ プロセスマネジメント	④ 人材育成

下期以降の取組み①

戦略1 － 基幹ブランドの安定収益確保

POLA

◆ 8月 「B.A」のエントリーライン「B.A RED」発売
◆ オーダー型シリーズ「APEX-i」のプロモーション強化
◆ PBの出店促進（2011年計画30店）
◆ 顧客接点拡大に向けた戦略検討

8月発売 B.A RED

ORBIS

◆ 7月 新ホワイトニング発売
◆ 好調なスキンケア新規客のリピート促進
◆ 購入単価の向上につながるMD展開
◆ ネット受注比率の更なる向上とコスト削減

7月発売 新ホワイトニング

戦略2 － 育成ブランドの成長加速

THREE

◆ 新製品、限定品発売にあわせたプロモーション強化
◆ 上期2店に続き新規出店を検討

下期以降の取組み②

POLA ORBIS HOLDINGS

戦略3 ー 強みを活かした海外展開

~H2O+™
sea-derived skincare

◆ 新規国への展開拡大
（2011年上期 ⇒ ロシア、2011年下期 ⇒ 韓国、ブラジル）
◆ 中国を中心としたアジアでの着実な成長
◆ シナジー検討タスクフォースを編成

Oasis™ シリーズ

POLA

◆ 中国 ⇒ 訪販展開に向けて現地法人設立
◆ ロシア ⇒ BCの育成と店舗への派遣を強化
◆ その他 ⇒ 各国での安定成長と収益性の向上

宝丽(中国) 美容有限公司

所在地 ： 遼寧省瀋陽市
設立 ： 平成23 年7 月
資本金 ： 2,000万US$
出資者 ： ㈱ポーラ 100%

中国現地法人 会社概要

ORBIS

◆ 中国 ⇒ インターネット通販の本格展開
◆ 韓国 ⇒ カタログ等のマーケティング強化による新規客拡大
◆ 台湾 ⇒ TVCM・ネット連動のプロモーション強化による新規客拡大

http://www.orbis.com.cn

下期以降の取組み③

POLA ORBIS HOLDINGS

戦略4 ― 研究開発力の強化

ポーラ化成	◆ 美白・アンチエイジング領域の素材開発において、着実なステージアップをめざす。 ◆ オイルカット処方の更なる進化 ⇒ オルビスブランドの強化へ ◆ H2O PLUS社グループ入りに伴い研究分野に海洋由来成分の新領域を追加。

横浜研究所

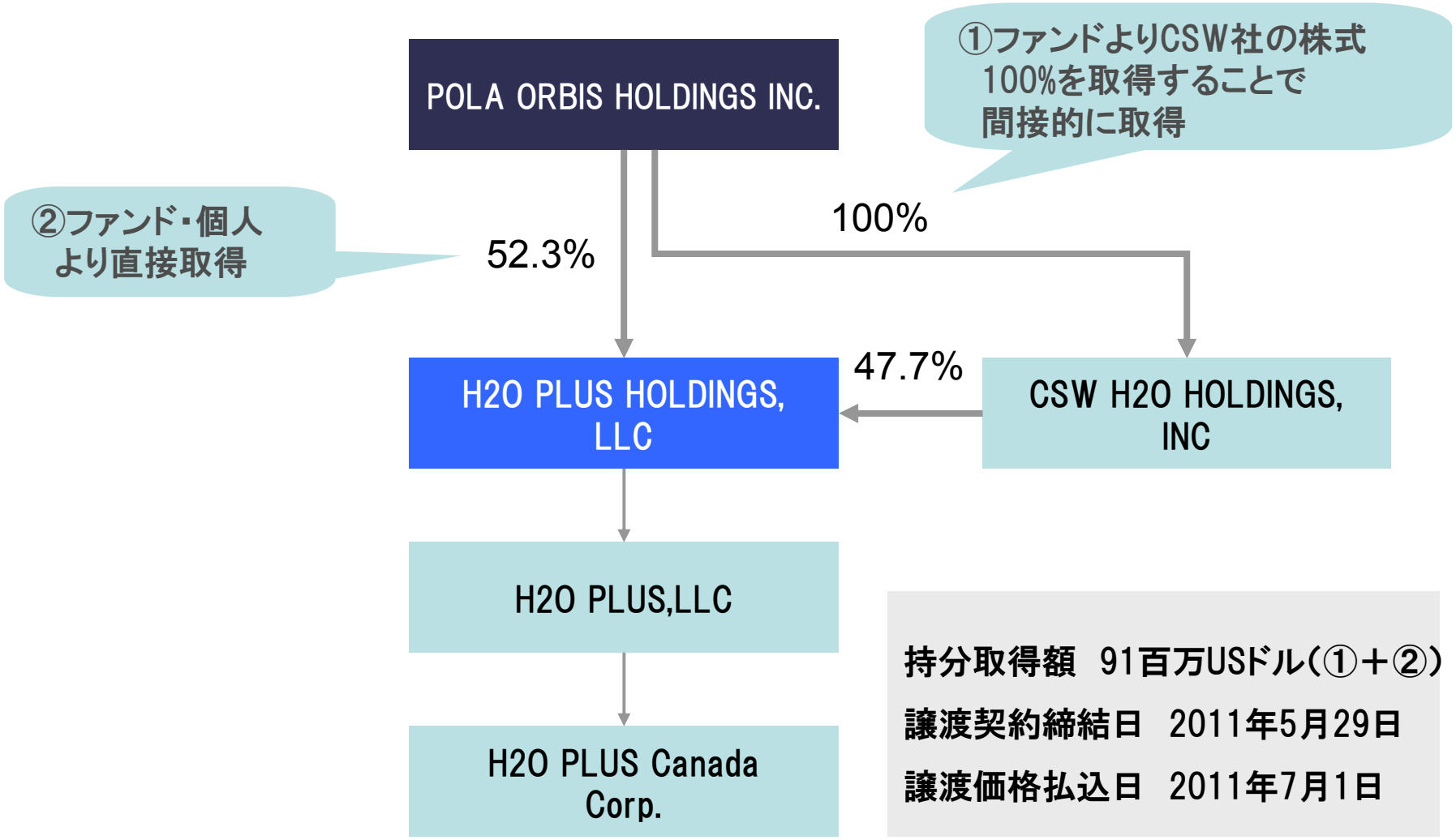
戦略5 ― 経営基盤強化

選択と集中	◆ 株式会社ピーオーメディアサービスの株式を譲渡 【理由】 事業環境に鑑み印刷事業を主力領域とする企業グループのもとで経営されることが同社の発展に資すると判断。 【譲渡先】 タイヘイ株式会社 【スケジュール】 クロージング日　2011年7月29日

参考：2010年度実績

純資産	2,809 百万円
総資産	3,720 百万円
売上高	3,717 百万円
（外部売上高	592 百万円）
営業利益	284 百万円
経常利益	309 百万円
当期純利益	177 百万円

参考資料　H2O PLUS HOLDINGS, LLC 持分取得のスキーム



持分取得額　91百万USドル(①＋②)

譲渡契約締結日　2011年5月29日

譲渡価格払込日　2011年7月1日

H2O PLUS HOLDINGS, LLC　役員体制

POLA ORBIS HOLDINGS

代表取締役社長　Robert F. Seidl (President & CEO)

＜経歴＞　米国Loyola Universityマーケティング学部卒、
米国Loyola University　MBA課程修了
2005年6月に社長として同社の経営に参画し、3ヵ月後に現職に就任。
1999年から日系化粧品企業のグループ会社にて社長兼CEOを歴任。

取締役(非常勤)　久米　直喜

兼務　㈱ポーラ・オルビスホールディングス　取締役総合企画・財務担当

取締役(非常勤)　堀川　健

兼務　㈱ポーラ・オルビスホールディングス　財務室長

＊ 2011年7月より、取締役会は上記3名で構成。